

■コメント

1. 後天性免疫不全症候群

1件(エイズ患者)の報告があり、今年の累計は17件(エイズ患者5件、HIV感染者12件)となりました。今年も昨年に引き続き多い状態が続いています。

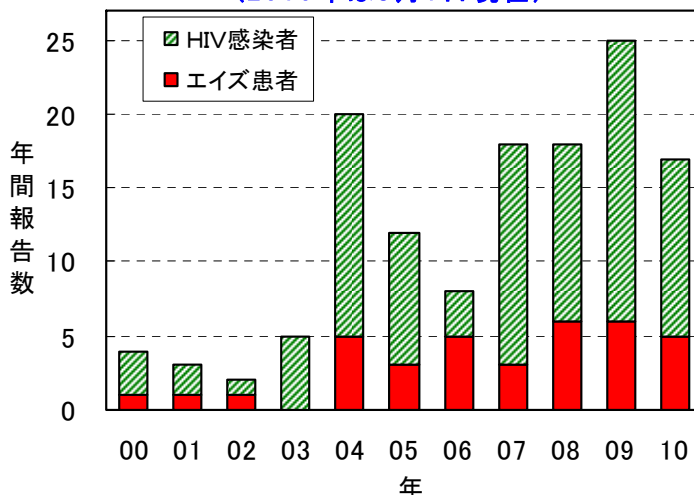
2. 流行性耳下腺炎

定点当たり2.52人とやや増加し、多い状態が続いています。安芸区11.5人と特に多く、佐伯区4.0人となっています。

最近の広島市では、2006年の後半から3年近く流行はほとんどみられていませんでしたが、2009年は徐々に増加し、今年も多い状態が続いており、流行の周期から推測すると、さらに増加する可能性があります。注意が必要です。

後天性免疫不全症候群の年間報告数

(2010年は8月1日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.13		ヘルパンギーナ	42	1.83	2.43	
咽頭結膜熱	16	0.70	0.41		流行性耳下腺炎	58	2.52	1.31	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.17	0.81		RSウイルス感染症	1	0.04	0.02	
感染性胃腸炎	81	3.52	3.35		急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	22	0.96	0.73		流行性角結膜炎	8	1.00	1.18	
手足口病	35	1.52	2.69		細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
伝染性紅斑	5	0.22	0.36		無菌性髄膜炎	-	-	0.34	
突発性発しん	14	0.61	0.88		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31	
百日咳	2	0.09	0.08		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	140	女性(20歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	24	女性(10歳未満)・O157、男性(30歳代)・O157、女性(30歳代)・O157
4	A型肝炎	1	4	女性(20歳代)
4	レジオネラ症	1	3	男性(50歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	17	男性(20歳代)・エイズ

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

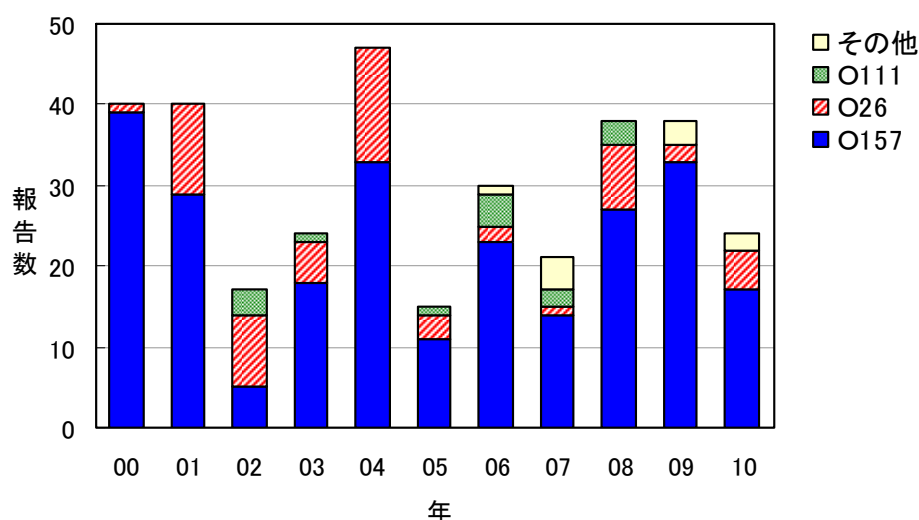
			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第26週	1	16	19	84	50	78	9	15	－	66	33	1	－	10	－	－	4	－
		第27週	－	23	16	86	29	85	9	19	－	76	41	－	1	5	－	1	－	－
		第28週	－	21	8	80	21	75	4	9	1	76	54	1	－	7	－	1	－	－
		第29週	－	12	9	73	13	50	4	15	1	52	49	－	－	1	－	3	4	－
		第30週	－	16	4	81	22	35	5	14	2	42	58	1	－	8	1	－	－	－
定点当り	広島市	第26週	0.03	0.67	0.79	3.50	2.08	3.25	0.38	0.63	－	2.75	1.38	0.04	－	1.25	－	－	0.57	－
		第27週	－	1.00	0.70	3.74	1.26	3.70	0.39	0.83	－	3.30	1.78	－	0.13	0.63	－	0.14	－	－
		第28週	－	0.91	0.35	3.48	0.91	3.26	0.17	0.39	0.04	3.30	2.35	0.04	－	0.88	－	0.14	－	－
		第29週	－	0.52	0.39	3.17	0.57	2.17	0.17	0.65	0.04	2.26	2.13	－	－	0.13	－	0.43	0.57	－
		第30週	－	0.70	0.17	3.52	0.96	1.52	0.22	0.61	0.09	1.83	2.52	0.04	－	1.00	0.14	－	－	－
	全国	第28週	0.04	0.36	1.05	3.54	1.24	3.94	0.57	0.67	0.06	6.51	1.43	0.05	0.03	0.71	0.02	0.07	0.33	0.04
		第29週	0.03	0.29	0.75	2.75	1.03	3.53	0.42	0.60	0.05	5.04	1.30	0.06	－	0.68	0.01	0.08	0.38	0.02

■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	0	女	2010/06/22	糞便	アストロウイルス
手足口病	6	男	2010/06/14	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	0	男	2010/06/18	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患(肺炎/間質性肺炎)	4	女	2010/06/13	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	1	女	2010/06/17	糞便	パレコウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における腸管出血性大腸菌感染症の型別報告数 8月1日現在



今年の腸管出血性大腸菌感染症は、8月1日までに24件報告されており、例年より多くなっています。

血清型別の内訳は、O157:17件、O26:5件、O121:1件、O103:1件となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第30週(7月26日～8月1日)